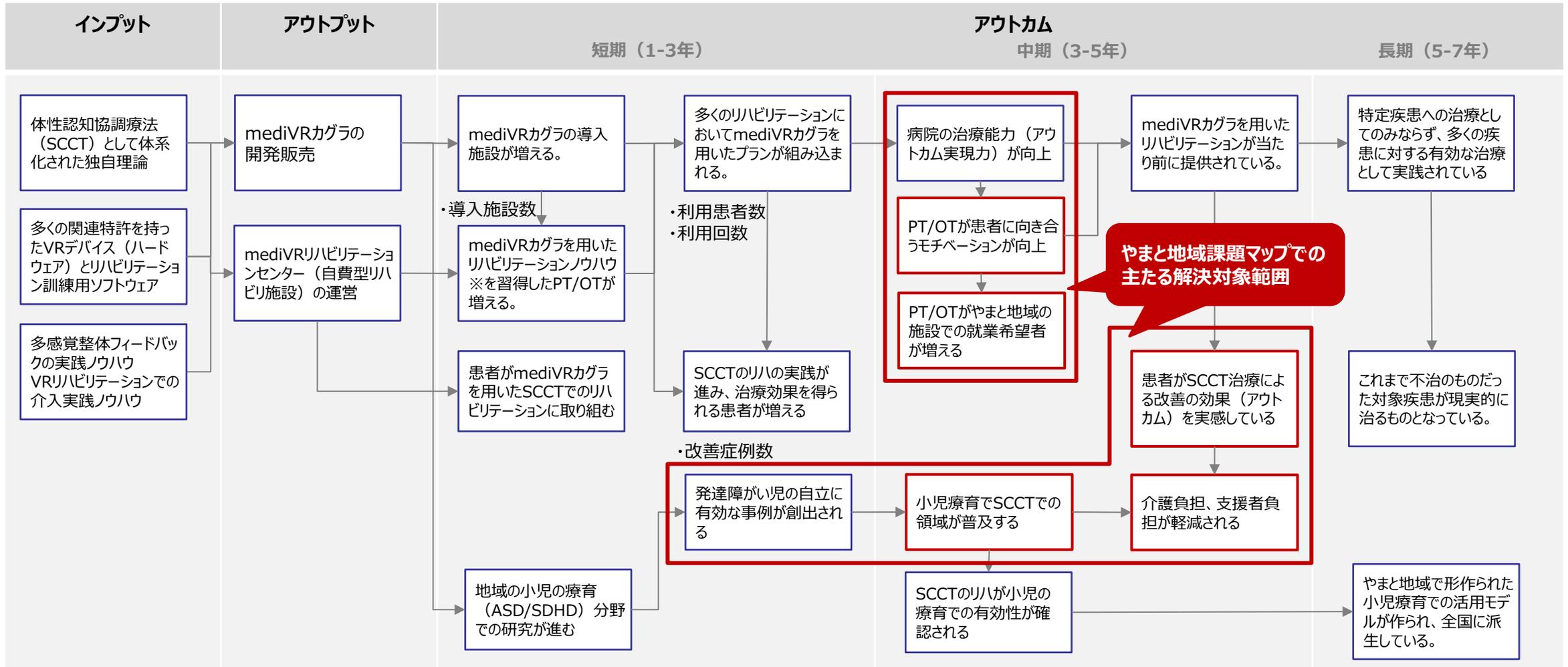


## Theory of Problem

Common disease（一般的に多くみられる疾患）から神経系の希少疾患や難病を患う患者に対して、現在の医療アプローチではその症状の改善が困難であるために、患者が通常生活への復帰について希望を持っていない状態となっている。

## Theory of Change

これまでの医療アプローチでは治療が困難であり通常生活への復帰を諦めざるを得なかった神経系の希少疾患や難病の患者が、希望をもって体性認知協調療法（SCCT）でのリハビリテーションに取り組み、通常生活への復帰が現実的な目標になっている。



やまと地域課題マップでの主たる解決対象範囲

※体性認知協調療法（SCCT）の重要要素である「声掛け」「タッチング」等